

奥の細道むすびの地「大垣」十六万市民投句
令和元年十月度 入選句（投稿総数三千二十八句・小中学投句数二千三百四句）

特選

ばったとぶぼくのあたまをとびこした

大垣市

板山

輔孝(小二)

選者 高木 恵理

シヨウリヨウバツタのメスは大きいもので、十センチメートルにもなるそうです。作者が、かがんでバツタをつかまえようとしたりその途端……。大きなバツタが頭をとびこえていったのですね。その時の驚いた作者の顔も浮かんでくるユーモラスな俳句です。さらに、人間とバツタの大きさの対比、小さな命の生命力も感じさせる生き生きとした俳句です。

どこにいるくつでみわけるうんどう会

大垣市

田部

美琉(小二)

運動会には、たしかに大勢の人が集まります。全校の子どもたち。家族、親戚、来賓、地域の方など……。こんなにたくさんのお客さんが集まる行事は他にありませんね。作者は友達を探しているのでしょうか。それとも家族かしら？子どもの目線で運動会をとらえた俳句として完成しています。大人には作れない子どもらしい俳句です。

運動会親も子どももかけぬける

加茂郡川辺町

木下

琉斗(中三)

学校の運動会、地区の運動会。運動会は、子どもたちと共に親さんも一緒に頑張る姿が見られます。子どもの前で一生懸命に走り抜く家族の姿を見て、子どもたちもさらに目標を高くすることでしょう。「子どもが親を応援し、親も子どもも応援する。」なんて素敵なお運動会でしょう。さらに、声を出して読んだときの「K」のリズムが心地よい俳句です。

秀逸

どんぐりが静かな夜に落ちていく

加茂郡川辺町

清野

夏瑞(中三)

敗戦忌碑の前に立ち目をつむる

加茂郡川辺町

浅野

真寛(中三)

おいもほりつるがたくさんつなひきだ

大垣市

のだ

さくや(小二)

いじわるな風で落ち葉がちらかった

大垣市

林

風美照(小三)

いねをかるからすのむれにかこまれる

大垣市

山田

さき(小三)

いなびかりかみなりさまがおこってる

大垣市

大塚

百恵(小三)

あかとんぼそらにかがやくひかりのこ

大垣市

太田

菜々(小四)

つくつくひとりごとという秋の蟬

大垣市

神村

奏多(小四)

公園でどんぐり一つまた一つ

大垣市

野村

陽向(小五)

秋の風まじよのかそうで空を飛ぶ

大垣市

清水

友莉(小四)

入選

うんどうかいてるてるぼうずたのんだよ 大垣市 河合 結生(小一)
うさぎごやかまきりがいてつかまえた 大垣市 きしべ るき(小二)
グローブであきのはっぱをキャッチする 大垣市 しみず かな(小二)
コロコロとエンマコオロギとびはねる 大垣市 中や そうすけ(小二)
むしたちがうたをうたってパーティーだ 大垣市 とみだ りお(小二)
せんせいもうんどうかいはあかだんだ 大垣市 青木 なゆか(小二)
空いっぱいどこからきたの赤とんぼ 大垣市 児玉 尚稀(小三)
うえきばちどけたらコオロギこんにちは 大垣市 土屋 遼人(小三)
おうえんで声がからからうんどう会 大垣市 桐山 真維(小三)
虫の声いろんな色でうたってる 大垣市 吉田 悠菜(小三)

入選

いねかりで小さい虫がおひっこし 大垣市 高橋 未唯南(小五)
うんどうかい六年生のラストラン 大垣市 水谷 蒼波(小五)
とんぼがねたくさんとおる空の道 大垣市 増元 みなみ(小四)
いわし雲見ているだけでおなかすく 大垣市 不破 寧音(小四)
新米のきれいな白はみとれるな 大垣市 清水 きなり(小四)
かえりみちむかえてくれるかかしさん 大垣市 林 夕貴音(小五)
むらさきのほうせきひかるやまぶどう 大垣市 高橋 幸之助(小五)
運動会友とかわしたハイタッチ 大垣市 高津 久実(小五)
秋の空ゆったりかわる空の色 大垣市 浅野 日香梨(小五)
すすきたち風にゆられて新体操 大垣市 小寺 明由奈(小五)

選者吟

山々に囲まれ美濃の和紙を漉く

恵 理